

■中国：パキスタンにおける中国設計の「華龍一号」初号機、圧力試験成功

中国核工業集団（CNNC）は2019年12月4日、パキスタンで建設中のカラチ原子力発電所2、3号機（中国製第3世代PWR「華龍一号」を採用）の最新状況を発表した。それによると、既に2号機の原子炉格納容器など主要設備の設置は終了しており、耐圧試験が実施された。この試験では一次系統に水を注入し、22.3MPa.gの圧力を10分間維持しながら、試験区画の7,200カ所の溶接部、800余りの設備をつなぐポイントの耐圧に異常がないかを確認した。同試験は、パキスタンの原子力規制部門であるパキスタン原子力委員会（PAEC）とパキスタン原子力規制庁（PNRA）の立ち合いのもとで行われた。CNNCは2021年の運開に向けての次のステップである温態機能試験に向けて準備を進めるとしている。